

令和3年度に実施した 保健事業 健康づくり

病気の予防

※年齢は年度末年齢

- ◆**特定健診**(年間 40～74歳の被扶養者)
- ◆**特定保健指導**(年間) 40～74歳の被保険者・被扶養者で基準該当者に保健指導を実施(「動機付け支援」「積極的支援」)
- ◆**法定外健診**(定期健診時に実施・被保険者)
 - 心電図検査/36～39歳
 - 血液検査/19歳～34歳、36～39歳
 - 眼底検査/40歳以上
 - C型肝炎検査/30歳
 - 前立腺がん検査/50・55・60歳(男性)
- ◆**胃検診** (定期健診時に実施 30歳以上被保険者) 30歳のみ全員対象
- ◆**乳がん・子宮がん検診** (全豊田地域巡回健診時に実施 女性被保険者)
- ◆**自宅でできる郵送がん検診**(1～3月) (年内にがん検診を受けていない被保険者および被扶養者)
 - 肺がん検診/40歳以上
 - 大腸がん検診(便潜血検査)/35歳以上
 - 胃がんリスク検診(血液検査)/30歳以上
- ◆**全豊田地域巡回健診** (30歳以上の被扶養者と任意継続被保険者本人)
- ◆**人間ドック** (30歳以上の被扶養者と任意継続被保険者本人)
- ◆**脳ドック** (50歳以上被保険者と被扶養者)
- ◆**ファミリー歯科健診**(被保険者と被扶養者)



- ◆**生活習慣病の重症化予防** 生活習慣病発症者および発症予備群の被保険者を対象に開催(健康づくり教室・ICT活用プログラム)
- ◆**インフルエンザ予防接種補助** (秋 65歳以上の高齢者および小学生までの子供)
- ◆**家庭常備薬の斡旋補助**(春・秋)

保健事業のPR

- ◆機関誌「けんぽだより」配付(年4回)
- ◆健康づくり応援サイト「PepUp」運営
- ◆アイチ健歩(4～6月、10～12月)
- ◆健診値改善チャレンジ(春or秋)
- ◆健康クイズチャレンジ(夏)
- ◆体重測定チャレンジ(冬)
- ◆医療給付通知書発行(毎月)
- ◆ジェネリック利用促進のご案内(年4回)
- ◆医療費適正化事業 (春 重複受診、頻回受診の注意喚起)
- ◆ホームページの運営
- ◆前期高齢者家庭訪問指導(随時)
- ◆受診勧奨通知発送



心身の保養

- ◆ホテル・ド・マロニエ施設利用契約(年間)
- ◆リゾートトラスト施設利用契約(年間)
- ◆まつみや・はや河・その他施設の利用補助(年間)
- ◆トヨタエンタープライズ社運営 公共の宿利用契約(年間)

健康保険「扶養調査」にご協力ください

当健保組合に加入している被保険者(ご本人)の皆様の被扶養者(扶養家族)について毎年調査を実施しています。この調査は、適正な保険給付を目的として国から義務付けられて行う調査です。お手数をおかけしますがご協力をお願いいたします。
※対象者別に2回に分割させていただきます。

扶養調査対象	調査票の送付日程	締切日
父母等・子供(19歳以上)	7月下旬	8月31日までに ご回答ください
配偶者	9月下旬	10月31日までに ご回答ください

被扶養者の条件とは

- ①被保険者と被扶養者との間に生計維持関係があること
- ②年収が130万円未満(60歳以上または障害認定を受けている場合は180万円未満)であること
- ③被保険者と同居していること
- ④別居の場合は被保険者からの援助(銀行等への振込み実態)があること等
- ⑤日本国内に住所を有すること(例外あり)

もしも、上記の条件をみたさない状態で、健康保険証を不正に利用した場合は、過去にさかのぼって健保負担分の医療費を被保険者に請求することがありますので、いつも状況把握に努めてください。

この調査による支出削減効果(推定額)

(扶養条件を満たしていない方に外れていただき、その方にかかる年間医療費と国へ納める高齢者医療拠出金を試算)



令和3年度 決算のお知らせ

「自分の健康は自分で守る」 心掛けでご協力をお願いします



令和3年度 決算のあらまし

収入	科目	決算額(千円)
	保険料(含調整保険料)	2,420,690
	国庫負担金収入	608
	国庫補助金収入	5,324
	財政調整事業交付金	41,723
	雑収入	14,579
	合計	2,482,924
支出	事務費	27,177
	保険給付費	1,232,046
	法定給付費	1,190,090
	付加給付費	41,956
	納付金	841,416
	前期高齢者納付金	253,546
	後期高齢者支援金	587,848
	病床転換支援金	2
	退職者給付拠出金	20
	保健事業費	71,094
	還付金	466
	財政調整事業拠出金	31,562
連合会費	1,217	
雑支出	1,635	
	合計	2,206,613

収入支出差引額 276,311千円

令和3年度の決算は、一般勘定において収入総額24億8,292万4千円、支出総額22億6,611万3千円で収支差引額は約2億7,631万円、經常収支差引額でも約2億2,688万円の黒字決算となりました。黒字で決算を終えることができた要因として、は、支出において高齢者医療制度への納付金等が対前年度比約2億5,455万円の減となったこと、コロナによる受診控えが挙げられますが、令和7年には団塊の世代すべてが後期高齢者となり、これに伴う納付金等の負担増により大多数の健保組合が財政危機に陥ることが危惧されております。

新型コロナウイルスにつきましては、ワクチンの接種が徐々に拡大し、やや沈静化されつつあるものの、今後、変異株ウイルスの発生も否定できず、まだまだ不透明感が残るところです。皆様におかれましては、ウイルスの感染予防に細心の注意を払っていただくとともに、「自分の健康は自分で守る」という心掛けで日常の健康管理にご留意いただきますようお願い申し上げます。

健康保険

健康保険組合現況(年間平均)

- 被保険者数4,308人
 - 男3,828人
 - 女480人
- 平均標準報酬月額407,994円
 - 男424,023円
 - 女280,056円
- 総標準賞与額(年間合計)6,096,815千円
- 平均年齢42.57歳
 - 男42.91歳
 - 女39.86歳
- 前期高齢者加入率1.70%
- 保険料率(含調整保険料率)8.90%
 - 事業主5.22%
 - 被保険者3.68%

介護保険

令和3年度 決算のあらまし

収入	科目	決算額(千円)
	介護保険収入	296,693
	繰入金	20,067
	合計	316,760
支出	介護納付金	306,985
	介護保険料還付金	24
	合計	307,009

介護保険 決算の基礎となった数値(年間平均)

- 介護保険第2号被保険者数3,469人
- 介護保険第2号被保険者たる被保険者数2,411人
- 平均標準報酬月額475,389円
- 総標準賞与額(年間合計)4,269,183千円
- 介護保険料率1.60%
 - 事業主0.80%
 - 被保険者0.80%

特定保健指導を受けましょう!!

特定保健指導とは…

★40歳～74歳までの公的医療保険加入者全員が対象。国より義務付けられた事業です。

「メタボリックシンドローム」に着目し、その要因になっている生活習慣を改善するために特定健診および保健指導を行い、生活習慣病の有病者・予備軍を減少させることを目的としています。

特定保健指導では、保健師や管理栄養士などの専門職による、生活習慣改善のための指導が受けられます。

1人ひとりのリスク要因を考慮した、きめ細かいサポートが受けられますので、生活習慣病の予防・改善に大変有効です。対象となった人は必ず受けるようにしましょう。

被保険者（従業員本人）

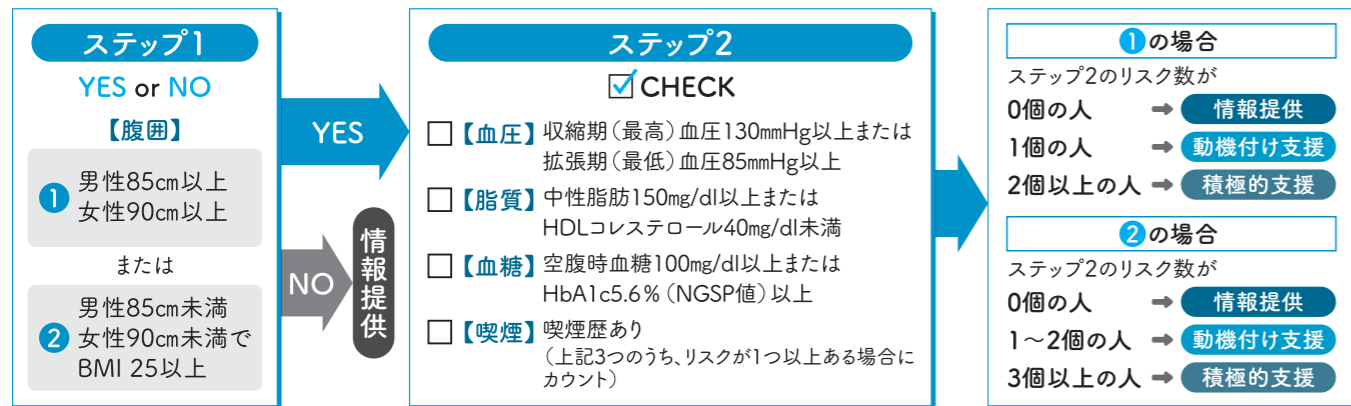
- ① 定期健康診断
- ② 30歳以上の任継の方は地域巡回健診・人間ドック

特定健診はこちらで受診していただきます

被扶養者（30歳以上）

- ① 地域巡回健診
- ② 人間ドック

流れ&判定基準



当健保組合では健診結果に基づき、特定保健指導を実施しています。

対象者（40歳以上）	指導方式	指導実施者	実施時期	実施期間
愛知製鋼 および 愛知グループ 従業員	愛知県内勤務	参加型 集団支援	あいち健康の森	8月～
	糖尿病が疑われる HbA1c6.0以上	参加型 集団支援	(株)ケーシップ	8月～
	過去3回以上 受講されている方	個別面談・ オンライン面談	健康保険組合の 保健師	8月～
愛知製鋼および 愛知グループ従業員 (愛知県外勤務)	個別面談・ オンライン面談	あいち健康の森	秋以降～	最短3ヵ月～最長6ヵ月 ※体重が2kgかつ腹囲2cm 減少した場合は3ヵ月間 で終了です。
被扶養者	個別面談・ 集団支援	(株)あまの創健・ スギメディカル・ 各契約健診機関 他	随時 (健診受診後)	

備考 十分な新型コロナウイルス感染症防止対策を実施した上で開催予定

毎年受けましょう 特定健診

幼稚園バスを見送った公園にて…



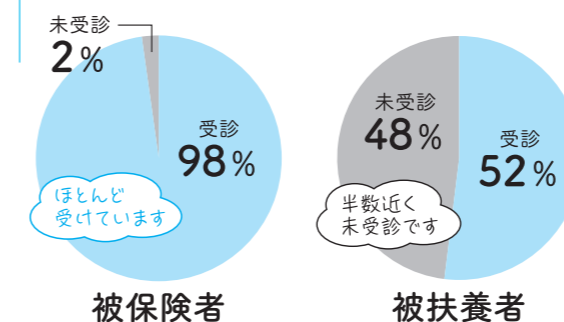
被扶養者のみなさん、日々忙しく過ごすなか、健診の受診をつい後回しにしているませんか？

メタボリックシンドローム予防を目的とした40歳以上の方が対象の「特定健診」は、被保険者は98%受けているものの、被扶養者の方は50%程度にとどまっています。

健診を受診し、体の状態をチェックすることは病気の早期発見やメタボ予防につながり、自分のためだけでなく家族の幸せにもつながります。

健保組合からお知らせが届いたら、さっそく健診の予約を入れましょう。

愛知製鋼健康保険組合の 特定健診の受診率（2021年度）



健診結果の活用を!

特定健診ではさまざまな項目を調べますが、どのようなことがわかるのかご存じですか？

主な項目	内容	わかることなど
BMI	[体重(kg)]÷[身長(m)の2乗]で出される数値。	25以上でメタボ判定基準の1つとなります。
腹囲	おへそまわりを測ります。	男性85cm以上、女性90cm以上でメタボ判定基準の1つとなります。
血圧	血液が血管の壁を押す力。	上昇傾向だと、動脈硬化や脳卒中、虚血性心疾患などのリスクが高まります。
中性脂肪	エネルギーとして使われます。	増えすぎると動脈硬化や脂質異常症、糖尿病などのリスクが高まります。
HDL コレステロール	余分なコレステロールを回収します。いわゆる善玉コレステロール。	少ないと動脈硬化のリスクが高まります。
LDL コレステロール	肝臓で作られたコレステロールを全身へ運びます。いわゆる悪玉コレステロール。	増えすぎると動脈硬化、脂質異常症のリスクが高まります。
HbA1c (NGSP)	過去1～2ヵ月の平均の血糖値を反映した数値。	上昇傾向だと、糖尿病、腎不全などのリスクが高まります。
γ-GT (γ-GTP)	たんぱく質を分解する酵素の一種。	飲酒量が多いときなどに上昇し、肝機能障害などのリスクが高まります。最近では、アルコールとは無関係に栄養過剰や肥満がもとでγ-GT等の値が上昇する病気が増えており、注意が必要です。
eGFR	腎臓が老廃物を尿へ排泄する能力を示す数値。	低いほど腎臓の機能が低下しており、慢性腎臓病(CKD)などのリスクが高まります。

※非アルコール性脂肪性肝疾患(NAFLD)非アルコール性脂肪肝炎(NASH)など。

●上記のほか、医師の判断で実施される詳細な検査項目(心電図、眼底検査など)もあります。

健診結果表に書かれている所見に従い、必要があれば必ず医療機関で受診してください。